

日光白根山山行報告

【山行日】2024年 6月 30(日) 曇り時々晴れ

【集 合】栃木市運動公園P AM 4:00

【費 用】マイカー1台 : 1,800円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:藤原ト、
青柳、嶋田、野口、福島、渡邊カ

【コースタイム】栃木市運動公園 P4:00＝菅沼登山口

P5:20/5:40～弥陀ヶ池 7:10/7:15～白根山 830/9:00

～避難小屋 9:50/10:10～五色沼 10:20/10:45～

弥陀ヶ池 11:10/11:20～菅沼 P12:35/13:00

＝栃木市運動公園 P14:50



7月からの夏山山行に向けて、トレーニング山行として日光白根山を計画した。天気予報は雨マークがあり心配したが、前日の天気予報で午前中は曇りで昼過ぎから雨に変わり決行することにした。栃木市運動公園を4:00に出発し、菅沼登山口駐車場に5:20に到着する。駐車場にはすでに管理



人が居て、駐車料金500円を徴収された。菅沼茶屋のトイレを借りて済ませ、ストレッチを行ったら出発する。曇っていたが空は明るく、当面雨の心配は無さそうである。歩き始めて直ぐの案内板の前で記念写真を撮り、ここから右に大きく曲がって平坦な道を進む。直ぐに沢沿いの道を進み、右に大きく曲がって九十九折れの道に登るようになる。木の根の段差や岩の段差を越えて、コメツガやシラビソの中を登って行く。しばらく登ると弥陀ヶ池まで0.9Kmの標識が立ち、休憩を取って水分を補給す

る。ここからは座禅山を巻くように登り、やがて平坦な道になると弥陀ヶ池に出る。弥陀ヶ池の西側に付けられた木道を進むと、弥陀ヶ池南端の広場に着く。休憩してゼリーや菓子をいただいたら山

頂へ向かう。ここから少し登ると座禅山の鞍部に出て、左に急な岩交じりの坂を登って行く。少し登るとハクサンシャクナゲの間を登ようになり、ピンクの可憐な花に癒されながら登って行く。森林限界を超えると展望が開け、眼下には弥陀ヶ池や菅沼、遠くには尾瀬の燧ヶ岳や会津の山々が望める。この先からガレ場の登りとなり、今日のコースで一番きつい登りだ。落石を起さぬよう慎重に登って行く。さらに岩場の急登が続き手前のピークを越えて一旦下り、登り返して大きな岩を越えると白根山山頂に着く。



登山開始時には山頂は雲に覆われていたが、少し青空が見え展望が効くようになっている。

関東以北の最高峰日光白根山は360度の大展望が得られ、日光連山や中禅寺湖、会津駒ヶ岳、燧



ヶ岳、武尊岳等々百名山が目白押しである。山頂は狭いので記念写真を撮ったら東側の平らな場所に移動し、ゆっくり展望を楽しみながら冷たいメロンをいただく。

初めて白根山に登った渡辺さんは、「日光白根山はこんなに展望が素晴らしい山なんです」と感動していた。展望を楽しんだら下山開始し、南側の火口原の縁を回って避難小屋に向かう。火口原から砂礫の斜面を九十九折れに下って行くと、コマクサが群生しとても綺麗だった。まだ咲初め

で花が小さく少ないが、色が濃くて素敵な花だった。砂礫の道からザレ場の下りになると、眼下に五色沼が見え素晴らしい。急坂を下るとダケカンバの樹林帯を下るようになり、やがて谷間の平坦な道に出る。左に平坦な道を進むと、赤い屋根の五色沼避難小屋に着く。休憩を取って冷たいゼリーや菓子を食べて、皆さんに前白根山に登るか聞くと「雨に降られる前に下山したい」との返事。ここから五色沼に向かうことに変更し、沢沿いの道を緩やかに下り広々とした五色沼に着く。それぞれ岩に腰かけてランチタイムとし、お湯を沸かしてカップ麺やスープを作っておにぎりをいただく。ランチが済んだら五色沼の西岸を進み、弥



陀ヶ池に向かう。平坦な道にはイワカガミの花が咲き、とても気持ちよく歩ける。五色沼を過ぎると急坂を登るようになり、シラビソやコマツガの鬱蒼とした道を登ると視界が開け五色山の鞍部に出る。ここからゆるやかに下ると弥陀ヶ池に出て、休憩し疲れた足を休める。弥陀ヶ池からは往路を戻り、軽快に下って菅沼登山口駐車場に着く。雨に降られることなく下山出来、皆さんとても満足そう。靴を履き替えたなら女性達は菅沼茶屋でトイレを済ませ、ついでに五平餅をゲットする。妻籠宿で美味し五平餅を食べた話を聞いて、



食べたくなって買いに行ったようだ。車の中に美味しそうな香りを漂わせ、幸せそうに食べていた。車が走り出すとすぐに雨が落ちて来て、前白根山と五色山を諦めて良かったねと胸をなで下ろす。帰りも渋滞も無く順調に走り、予定より早く栃木市運動公園へ帰着した。

